

飯田西中学校 家庭科

〔生徒の皆様へ〕

- 一つ一つの委員会でSDGsについて考えている様子が伝わってきた。一つの目標だけでなく、17の目標の多様な面から考え、活動を行っており、自分事として活動を行っていることが分かった。また、一人一探究でSDGsを多くの人が扱っているのも、委員会活動や日々の意識の表れに感じた。委員会活動や探究の時間、家庭科の授業など、様々な場面でSDGsについて考え、自分ももっとSDGsについて考えなければならぬと感じさせられた。
- 消費者側が何をかうのか、どのようにエネルギーを消費するのかによって持続可能な活動ができるのかが決まるという考え方はとても良いものだと感じた。加えて、新聞を読むことで様々な情報を取り入れ、SDGsについての多くのことを学ぶことができる活動であると感じた。
- SDGsすごろくの作成が印象に残りました。誰でも簡単にプレイできて、遊びを通してSDGsについて学ぶことができる点が小学生などの幼い子供にも意識を芽生えさせるきっかけになると思います。
- SDGsへの活動として生徒会等から取り組むときに、残食料を100g以下にする等の具体的な目標が設定されている点が素晴らしいと思った。また、家庭科の授業においては、市の職員からのお話をもとに、ポスターやすごろく等が制作されており、SDGsにより親しみやすくなっていると感じました。
- 家庭科は将来の私たちの生活に直結する内容であるので、それをテーマに探究を進めていくのはとても良い取り組みであると思いました。SDGsを生徒会SDGSとして様々な取り組みを行うことで学校中に広げることができるためとても良い方法だと思いました。アルミ缶回収やペットボトル回収は簡単に取り組める内容であるためこれからも進めていって欲しいです。その成果も「見える化」してもらえるとより活動内容もわかりやすくなっていいと思いました。
- 委員会ごとにSDGs活動を行うことにより、学年の壁を越えた意見交流や活動を行うことができるというメリットがあるので、この活動は他の学校でも取り組むべきだと思います。さらに、家庭科でもSDGsに関わる取り組みを行っていて教科横断的な活動を行っていて素晴らしいと思います。
- SDGsに関する理解を深めることにとどまらず、自分たち個人が何をできるのかを考えられている点が良いと思いました。特に印象に残っているのは、委員会ごとの活動に特色があったことです。それぞれが、自分たちの良さを生かして何に取り組めるのかを考えられているのが伝わってきました。
- 地球温暖化についての問題は世界規模で取り組むべきことであり、私たち一人ひとりがどう取り組んでいくべきなのかというのは難しい問題だと思います。しかし自分たちのできることを熱心に考え、言葉でいうだけではなく具体的なことが述べられ、実施されていたので素晴らしいと思います。これからの取り組みにも期待しています。
- 素晴らしい発表ありがとうございました。個々人の行動を積み重ねることで変えていくという考えは素晴らしいと思いました。日々の学びの中からSDGsに絡めて考えるのはとても大切なことだと思います。私自身も1ピースとして日々過ごしていきたいなと思います。

- 全ての活動に自分たちが社会の一員であるという意識があると伝わってきました。私は大学で環境について学んでいくうちに、SDGsの目標に向けた活動は、総合的な学習の時間の時間だけでなく、日常的に取り組んでいくべきだと考えるようになりました。飯田西中学校では総合の授業内だけでなく、生徒会や、教科の時間にもSDGsの目標に向けた活動が織り込まれているところがいいと思います。このように日常的に活動していくことが大切であるとみんなが知っていくことが大事だと思うので、これからもこのような活動に積極的に取り組んでいってほしいと思います。
- 委員会ごとにSDGs活動に取り組む学校全体で環境について考える場となっていて良いと思いました。新聞を読んでSDGsについて理解を深めて、一人一探究へと学びが発展していて、主体性が感じられるとてもよい授業だと思いました。
- 家庭科で学んだことから、自分のすべき行動を考えようとする姿勢に感動しました。また、それぞれの行動をSDGsに逐一繋げられていて、意識の高さを感じます。これからも持続可能な社会を目指す一員として高い意識を持ち続け、行動に繋げられるよう応援しています。
- 節電や残飯の削減、SDGsに関するクイズなど、全校生徒が簡単に、楽しみながら参加できような取り組みの実施や、家庭科の授業での探究活動やすぐろくの作成など、楽しみながらも、SDGsに取り組む「ピースの一員」として社会に貢献できるような取り組みがされているところが良いと思いました。
- SDGsを基とした活動の量がまずとても多くて驚いたし、素晴らしいと思いました。また環境的に良くないとされていることがなぜ良くないのか、本当によくないのかを言語化して、取り組む意欲を明確にしている点がとても素晴らしいと感じたし参考になりました。
- 家庭科の授業を通してSDGsについて考えるというのは面白いと思った。自分たちの消費生活を見直し、環境への影響を考える。その影響をすくなくするための方法を考えていた。これ続けることで地球温暖化の進行を抑制することができるのではないかと思った。
- 地域の方たちも巻き込んで、学校でSDGsに取り組んでいるのは地域で成長していけると感じられてとてもいいと思いました。1人1探究という活動は高校での探究的な活動にも生かせるため全員が経験できるのはとてもいいと思いました。遊びながらSDGsに取り組めたり、メディアやイベントなどを利用したりすることで、地域全体でSDGsに取り組めるようになっていくという仕組みがとてもいいなと思いました。
- 美化委員会のごみ拾いや生活委員会の節電節水活動、給食委員会の残菜量を少なくする活動など、それぞれの委員会ごとに特色が色濃く出ている点が印象的でした。新聞よむよむタイムから紐づいた気温上昇を防ぐ行動も素晴らしいと思いました。
- 発表の中で言っていたような、「一人一人の活動は小さくてもそれが積み重なることで持続可能な社会に向けての大きな変化となる」という考え方はとても大切なものだと思った。飯田西中では、SDGsを考えて行動することを生徒に促すための多くの取り組みが行われていて、このような取り組みがより多くの学校で行われるべきだと感じた。飯田西中で行われている活動は授業で学んだことが生かされて考えられたものも多く、生徒がそれまでの学びを踏まえて、今すべき活動を考えることのできる環

境づくりも重要であると考えた。

- すごろくを用いてSDGsや食品ロスについて学ぶという発想が、とても斬新で面白いと思いました。他にもポスターをつくるなど、学習している本人たちだけでなく、発表を聞いている側までもが意識できるような方法がいくつもあってとても良いと思いました。